



2023年4月11日

早稲田大学

早稲田大学 Press RELEASE 募集開始のご案内

配布先：文部科学記者会、科学記者会、

報道各社（科学部・社会部・報道部） ご担当者 各位

第23回



**石橋湛山記念
早稲田ジャーナリズム大賞**

候補作品の募集開始について

学校法人早稲田大学（東京都新宿区 総長：田中愛治）は、本年度も2000年の創設より23回目となる、「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」の応募・推薦の受付を、次頁のとおり開始いたしますのでお知らせいたします。

1882年の建学以来、本学は多くの優れた人材を言論、ジャーナリズムの世界に送り出してきました。2000年に社会的使命・責任を自覚した言論人の育成と、自由かつ開かれた環境の形成への寄与を目的として「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」を創設しました。翌2001年より毎年、広く社会文化と公共の利益に貢献したジャーナリスト個人の活動を発掘、顕彰することにより、社会的使命・責任を自覚した言論人の育成と、自由かつ開かれた言論環境の形成への寄与を目的として運営してまいりました。

報道関係者の皆様からの多数のご応募・ご推薦をお待ちしております。また、一般の皆様からのご推薦も受け付けておりますので、貴社内外を含めて広くご周知いただきたくよろしくお願い申し上げます。

敬具

◆ご参考 第22回（2022年度）授賞作品

大賞	公共奉仕部門	Fujiと沖縄 本土復帰50年（山梨日日新聞本紙及び電子版）
	草の根民主主義部門	「“玉碎”の島を生きて～テニアン島 日本人移民の記録～」(NHK ETV 特集)
奨励賞	公共奉仕部門	連載「消えた『四島返還』」を柱とする「#北方領土考」キャンペーン (北海道新聞、北海道新聞電子版特設サイト、書籍「消えた『四島返還』 安倍政権 日ロ交渉2800日を追う」)
	公共奉仕部門	調査報道シリーズ「国費解剖」(日本経済新聞、日経電子版)
	草の根民主主義部門	ミャンマー軍の弾圧や軍事攻撃の実態に迫る一連のデジタル調査報道 (NHK 総合テレビなど)



第 23 回「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」募集要項（概要）

応募・推薦はどなたでもできます。

【対象作品】 2022 年 4 月 1 日から 2023 年 5 月 31 日までに、不特定多数を対象としたメディアに公表された作品を対象とします。作品の形式は問いません。

【受付期間】 **2023 年 4 月 18 日（火）～ 2023 年 5 月 31 日（水）**

【受付方法】 受付期間内に、本学 Web ページにて公開の【応募・推薦フォーム】より、必要事項の入力と作品の提出方法の選択を行ったうえで、申請を行ってください。

公開ページ：<https://www.waseda.jp/top/about/activities/j-award/application>

★期間内厳守

【選考方法】 下記 10 名の選考委員からなる選考委員会により、本賞の趣旨に照らして、中立公平な立場から厳正な審査を行います。

選考委員：角 英夫、瀬川 至朗、高橋 恭子、武田 徹、土屋 礼子、中谷 礼仁、
中林 美恵子、三浦 俊章、吉岡 忍、ルーシー・クラフト

【結果発表】 2023 年 11 月中旬、授賞作品決定後に受賞者へ連絡するとともに、選考結果を新聞・通信・テレビ各社へプレスリリースし、本学 Web サイトにて発表します。

これに先立ち、2023 年 9 月中旬に当該候補者に許可を得たうえで、最終候補作品と候補者を公表します。

【 顕 彰 】 3 部門（公共奉仕部門、草の根民主主義部門、文化貢献部門）で顕彰いたします。
2023 年 12 月初旬に、贈呈式等を予定しております。

※詳細は、本賞ホームページ（<http://j.mp/j-award>）をご覧ください。

内容に関するお問い合わせ

「石橋湛山記念 早稲田ジャーナリズム大賞」事務局（早稲田大学広報室広報課内）

担当：志熊、菊池、太田、宮田

電話：03-3202-5454

メール：koho@list.waseda.jp